ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

金沢北ロータリークラブ
例会日：木曜日 12:30～13:30
例会場：卯辰山・ホワイトハウス
事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
TEL〈0762〉22-2525
会長：大場勝雄　幹事：桜井健太郎
情報委員長：米沢修一

1982・4月22日 第214号

大場会長の人間国宝認定を祝う

副会長　山岸　与作

この度、大場会長が人間国宝に認定されました。会員一同に代り心からお慶び申しあげます。

人間国宝とは、北国新聞（昭和57年４月３日）の解説によれば、文化保護審議会の認定答申により、文部大臣が工芸技術や伝統芸能に特に優れた人を認定する制度であって、定員は工芸、芸能各35人合計70人であり、毎年保持者の死去により欠員を補充するもので、昭和30年の制度発足以来今日まで延べ 151人が人間国宝に認定されておりますが、大場会長は石川県では、木村雨山（染色）、魚住為楽（金工）、前大峰（漆芸）、氷見晃堂（木工）、隅谷正峯（日本刀）についで６人目であります。

大場会長の、これまでの御経歴や御業績については、会員の皆様御承知のとおりで、御父上について漆塗りを修業後、松田権六氏に師事し、蒔絵の指導をうけ、その後伊勢神宮の神宝の製作中尊寺金色堂の保存修理等に携り乍ら、平文の技法を研究し、優れた作品を多数発表されております。

ところで、平文（ひょうもん）の技法とは中国では平脱（へいだつ）と言われ、我国では奈良時代以降に伝承されたものでありますが、金や銀の板金を文様に切り、器の素地に張りつけた後漆を塗り重ね、板金の部分を研ぎ出すか、漆膜を削り取って、文様を浮き出させる技法といわれています。

この技法は、一時消えた幻の平文といわれていましたが、大場会長は、この消えかかっていた平文のナゾの部分を一つ一つ解明しました。この技法は素地が平面ばかりでないので、ここに板金を密着させることが極めて難しく、又素地の凹凸の部分にも漆の縮みや、むらが出来ないように塗り上げ、板金の効果を十分に発揮させる事も難しく、その技法は高く評価されております。

大場会長は、この平文技法により、優美さと力強さを合せ持ったすばらしい作品を生み出し、平文技術の第一人者として内外で高く評価されております。

今後共益々御健康で御活躍の程を祈念し、御祝の言葉と致します。

（金沢北RC祝賀会挨拶より）

人間国宝大場松魚先生を称える

清水　忠

井上靖の作品に、漆胡樽という短篇小説がある。

奈良正倉院の御物が初めて公開されたのは、昭和21年秋のことだった。敗戦直後の混乱のさ中でそこで出会った奇妙な漆塗りの器に、作者は深い感動を憶える。

漆胡樽と名づけられたその西域の酒器は、シルクロードを経て唐の都長安に運ばれ、波濤をこえて天平の都奈良に辿りついたにちがいない。或る時は、ゴビの沙漠をわたる紅毛碧眼の青年の手で駱駝の背に振り分けられ、或る時は、玄海灘の荒波に揺れる船底で遣唐使の若者の腕にしっかりと抱かれたであろう。

流転万化の数奇な運命に耐えながら、２千年という気の遠くなる、時の流れを超えて、現代の人の目に触れた漆胡樽という〝もの〟――そこに〝ものづくり〟という営みにかけた古代人のロマンと情念を観て、井上靖は心を打たれ、時空を超えた人間としての共感を憶えるのである。

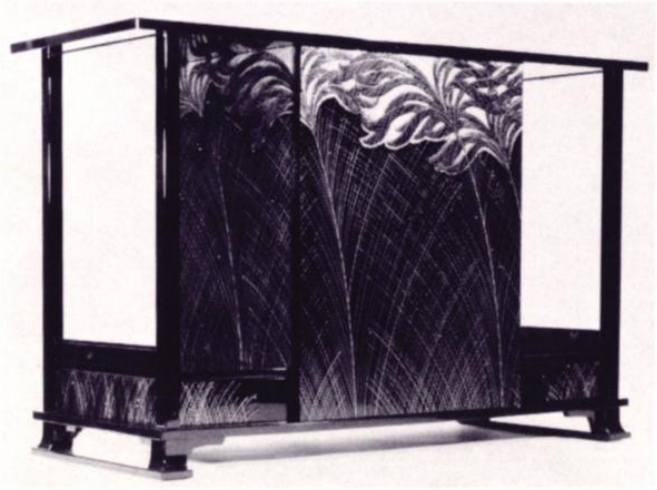
大場先生の作品に接するたびに、私はきまってこの漆胡樽を想い起す。

不明にして、私は平文の加飾技術を論ずる知識を持たない。

唯、例えば先生の〝平文千羽鶴之箱〟を前にする時、文字通り漆黒の混沌（カオス）から、純金の雄鶴がそして純白の雌鶴が清浄の天空に向って飛翔しようとする世界に、私も井上靖と同じ感動を持って、古代人が漆胡樽にかけた〝ものづくり〟のロマンと情念を感じざるを得ない。そのロマンと情念が索漠とした現代社会でいかに重要な今日性を持つかという議論は別としても、少くとも私にとってそれが、明日への心の糧となっているという原体験は、真底強調せずにはおられない。

大場先生が人間国宝になられたという報道を耳にした今、私はそうした原体験を想い起し、遙か天平の昔にその想いを馳せながら、先生の作品が、日本文化の具現として、逆に波濤をこえ沙漠をこえて海外の人の目に触れるべき時が来たのではないかという思いにかられている。

先生の、より一層のご精進とご健勝を祈ってやまない。



大場松魚さん人間国宝認定祝賀会

長谷川会員作「おうす茶碗」を記念品として贈呈

おめでとう乾杯!!

御祝儀として鈴木夫妻と塩村会員の尺八・琴の演奏

大場先生の作品を展示して

3月例会出席状況

出席率 98.24%

会員名＼月日	3/4	3/11	3/18	3/25		3月
浅田 豊久	M	○	M	M		◎
浅野 弘明	○	○	M	○		◎
出島 敬識	M	○	M	M		◎
二木 正樹	○	○	○	○		◎
合田 昌英	○	○	M	○		◎
春田 義正	M	○	○	○		◎
長谷川 塑人	○	○	○	M		◎
橋場 幸一	○	M	M	欠		×
本江 他美夫	○	○	○	○		◎
市川 則人	○	○	○	○		◎
飯野 健志	M	○	○	○		◎
池島 乙市	M	○	○	○		◎
石丸 幹夫	○	○	○	○		◎
礒貝 貞吉	○	○	○	○		◎
上 次作	M	○	M	○		◎
笠間 恒次	M	○	M	○		◎
木島 光仁	M	欠	○	欠		×
木下 和吉	M	○	○	○		◎
小林 隆二	○	○	M	○		◎
小間井 宏尚	○	○	M	○		◎
越野 民男	○	○	○	○		◎
小杉 守男	M	○	○	M		◎
小杉 善二	○	○	○	○		◎
増江 泰	○	○	○	○		◎
本岡 三千郎	○	M	○	○		◎
宗田 市太郎	○	○	M	M		◎
中村 三次	○	○	○	○		◎
中村 省三	○	○	○	○		◎
落合 義彦	○	M	○	M		◎

会員名＼月日	3/4	3/11	3/18	3/25		3月
大場 勝雄	○	○	○	○		◎
大村 精二	○	○	○	○		◎
岡田 林太郎	○	○	○	○		◎
桜井 健太郎	○	○	○	M		◎
沢田 哲夫	○	○	○	○		◎
柴田 三郎	○	○	○	M		◎
清水 忠	M	○	M	M		◎
下村 義明	M	M	○	○		◎
篠原 章良	○	○	○	○		◎
塩村 喜代次	○	○	○	○		◎
鈴木 透	○	M	○	○		◎
庄田 厚郎	M	○	○	欠		×
高畠 菊丸	○	○	○	○		◎
高田 全	○	○	○	○		◎
舘山 松雄	M	○	M	○		◎
俵外 代吉	M	M	M	M		◎
土原 一二	○	○	○	○		◎
佃 一成	○	○	○	M		◎
釣見 栄一	○	○	○	○		◎
上田 忠信	○	○	○	○		◎
魚住 安彦	○	○	○	○		◎
若野 三朗	○	○	○	○		◎
山上 啓介	○	○	M	○		◎
山岸 与作	M	M	○	○		◎
米沢 修一	M	○	M	○		◎
吉岡 厳	○	○	○	○		◎
由井 賢一	○	M	○	○		◎
吉山 宥海	○	○	M	○		◎

第427回例会

◆ 4月8日㈭晴　12:30～13:30　石亭

1．講　　話　「祖父と私の鉦づくり」
　　会員　魚住安彦君

2．出　　欠　出席36名、欠席21名、出席率63.16%
　　ビジター10名

3．来 訪 者　野々市RC　宮森力松(排煙装置)
（敬称略）　鎌倉RC　蓮田修吾郎(金属工芸)
　　金沢RC　坪野俊雄、宇都宮熙志
　　前島達次郎、平能富太郎
　　金沢西RC　高島雄二、東清、辻昭夫
　　金沢南RC　成瀬栄蔵、武谷文雄

4．幹事報告○大場会長祝賀会のご案内
　　4月15日㈭午後6時30分　石亭にて
　　○10周年実行委員会
　　4月22日㈭午後6時　六華苑にて
　　○本日例会終了後、理事会開催

5．ニコニコBOX
　　○4月2日、重要無形文化財保持者に認定されました　大場勝雄
　　○大場会長のこの度の人間国宝認定に対し、心からお祝い申し上げます
　　山岸与作、大村精二、桜井健太郎
　　米沢修一、清水忠、魚住安彦、小杉善二
　　○大場会長おめでとう「妻思ふ　心に勝る妻心　生あらば如可に喜ばん　今日のめでたき」　越野民男
　　○会員の皆様、郷土誌の原稿ありがとうございました　清水忠
　　○鈴木企画委員長の奥様、箏曲大師範昇格おめでとうございます　小杉善二
　　○家内の大師範昇格が新聞にのりましたので　鈴木透
　　○カビが生えたらしく、もう結婚記念日を忘れようとしていた。ところがクラブから嬉しい〝祝〟のカードが届いたのでびっくりして　柴田三郎
　　○昨日誕生日でしたのと、長男が中学に進学しましたので　高畠菊丸
　　○去る4日、射水RCの認証式に出席しましたが、其の際、私の車がパンクしまして、米沢会員に大変ご迷惑をおかけしました　上田忠信
　　合計56,000円　（累計 1,044,000円）

6．今週のニュース　国鉄運賃値上げ
　　国鉄の運賃値上げを審議していた運輸審議会は通学定期の値上げを二段階にするほかは、申請通り認可が適当とする答申をまとめ提出した。値上げ率は全体で6.1%で新幹線、特急料金に対する閑散期割引制が新設されるなど実態に合った運賃制度で利用客を増やすことをねらっている。

第428回例会

大場会長人間国宝認定祝賀会

◆ 4月15日㈭　18:30～20:30

1．お祝いのことば　会員　柴田三郎君
　　越野民男君

2．記念品贈呈　〝おうす茶碗〟（長谷川塑人会員作）

3．出　　欠　出席46名、欠席11名、出席率80.7%
　　ご夫人25名
　　金沢南RC　成瀬栄蔵君

4．来 訪 者　（昼受付の部　敬称略）
　　金沢RC　中里巧、真柄要助
　　徳田与吉郎、坂本芳朗
　　金沢東RC　田川克次、諸江賢二
　　深井正敏、三谷進三
　　金沢西RC　坂本宗一郎、高田清郷
　　市川静夫、森政吉
　　金沢南RC　柿木英夫

4．ニコニコBOX
　　○今日のお祝、心からお礼申し上げます。
　　大場勝雄
　　○畏兄大場松魚さんが此の度、人間国宝の認定をうけられて
　　金沢南RC　成瀬栄蔵君
　　○大場会長、人間国宝おめでとうございます　柴田三郎、中村省三、増江泰
　　木下和吉、高畠菊丸、土原一二、鈴木透
　　笠間恒次、岡田林太郎、上田忠信
　　宗田市太郎、春田義正、山岸与作
　　○本日の大場先生のお祝いで、私のお茶碗を使っていただき感謝致します
　　長谷川塑人
　　○担当のI.G.F.が終了して、皆さんの御協力に感謝して　土原一二
　　○石川県農協青壮年部委員長になりました　高畠菊丸
　　○I.G.F.でスピーカーを無事つとめさせていただき　浅田豊久
　　○松任で開かれたI.G.F.に出席して浅田会員のスピーカーとしての名演説を聞く事が出来ました　上田忠信
　　○4月7日の米山奨学会研修会に出席して、当クラブは期間入金分、及び過去累計分共に、261地区最初の栄誉を讃えられ　飯野健志
　　○御誕生祝カードをいただいて　由井賢一
　　合計56,000円　（累計 1,100,000円）

5．今週のニュース　仏大統領来日
　　フランスのミッテラン大統領が国賓として夫人とともに来日した。日仏交流の歴史の中でフランス元首が単独で日本を公式に訪れたのは初めて。滞日中、国会で演説。一連の会談では課題となっている通商摩擦緩和、科学技術協力など日本の役割を求め、又6月のベルサイユ・サミットへの対応や軍縮問題への取り組みなどについて話し合われた。

理事会報告

4月8日㈭　石亭にて
出席者　14名

■ 5RC合同役員会報告
全般事項の懇談

■ 南光州RCとの友好提携の件
5月理事会に於て再検討。

■ 新入会員の件
○米沢真二氏（プロパンガス販売）
○坂下直人氏（漆工芸）

■ 各委員会報告
○職業奉仕委員会
3月28日㈰に行われた職場親善球技大会精算書報告。
○友好委員会
京都洛北のスポーツ少年団金沢遠征希望。7月30日～8月1日。次年度の事業であるが、小間井現友好委員長の協力も得て、準備にとりかかる予定。

■ その他
○松魚亭オープンにあたり、京都洛北RCより寄贈されたロータリーマーク(現在大場会長宅にて保存)を、常時目につくところにかかげることに決定。
○新旧合同理事会を5月早々に開催する。
次年度のガバナー公式訪問は9月の予定。